科目ナンバリング	U-LAS05 20054 LJ31

授業科目名<英訳>	地域研究概論 Introduction to Area Studies	担当者所属職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 小坂 康之 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 片岡 樹 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 伊藤 正子 アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授 木下 こづえ アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授 師田 史子 東南アジア地域研究研究所 准教授 町北 朋洋

群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)	使用言語	日本語

旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）

開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	火4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

東南アジアは、日本との地理的な近接性だけでなく、生態資源の産地としての重要性、社会文化の魅力、政治経済面や歴史的側面の密接なつながりを持っており、日本で暮らす私たちにとって、近年ますます身近な地域となっています。各種メディアが発信する東南アジアの情報も増加していますが、それは東南アジアの固有性、多様性、21世紀における新たな動態について、十分に伝えるものとは限りません。本科目では、東南アジアを舞台に、地域をどう見るのか、そして見えるものの学術的な面白さと意義を、長期にわたるフィールドワークの経験をふまえて講義します。

[到達目標]

東南アジアを訪問したことのない受講生は、東南アジアの固有性と多様性に触れることで、地域研究の面白さと意義を理解し、さらに東南アジアと日本との密接な関係をふまえて、グローバルな環境問題や社会的・歴史的問題を考察します。東南アジアを訪問したことのある受講生は、自身の抱くイメージと研究者の描くイメージとを比較することで、多面的な地域像を構築し、東南アジアと日本の自然環境、社会文化、歴史、政治経済の可能性と問題点への考察を深めます。

[授業計画と内容]

第1回　はじめに：東南アジアをどう見るのか？　小坂
第2回　東南アジアの固有性：人と自然の相互作用1　小坂
第3回　東南アジアの固有性：人と自然の相互作用2　小坂
第4回　東南アジアの固有性：人と自然の相互作用3　木下
第5回　東南アジアの固有性：人と自然の相互作用4　木下
第6回　東南アジアの多様性：社会・文化と歴史にみる地域変容1　伊藤
第7回　東南アジアの多様性：社会・文化と歴史にみる地域変容2　伊藤
第8回　東南アジアの多様性：社会・文化と歴史にみる地域変容3　師田
第9回　東南アジアの多様性：社会・文化と歴史にみる地域変容4　師田
第10回　世界の中の東南アジア：21世紀の政治経済を考える1　片岡
第11回　世界の中の東南アジア：21世紀の政治経済を考える2　片岡
第12回　世界の中の東南アジア：21世紀の政治経済を考える3　町北
第13回　世界の中の東南アジア：21世紀の政治経済を考える4　町北
第14回　まとめ　小坂
≪期末試験≫
第15回　フィードバック

地域研究概論(2)へ続く↓↓↓

地域研究概論(2)

[履修要件]

文系理系を問わず、東南アジアを好奇心旺盛に学びたい人を歓迎します。

[成績評価の方法・観点]

平常点（各回コメントシートの提出：20点）と期末試験（レポート試験：80点）に基づいて評価します。

[教科書]

授業中に指示する
担当教員全員で作成したものを事前に配布します。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する
東南アジア地域研究関連のリーディングリストを第1回授業時に配布します。

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回、その回の担当教員の教科書内の執筆部分を予習してくることが必要です。
また東南アジア地域研究の目的の一つは、現在の東南アジアを理解することです。日頃から東南アジアに関するニュースを積極的に読んだり聞いたりして、授業の理解を深めてください。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]